

今回は新任の先生の本紹介①です。今回も色とりどりの素晴らしい本が集まりました。これを機に新しいジャンルの本を読んで自分の世界の密度を濃くしてみてください。追記今年度より、学校ホームページの図書館のページから、本校の蔵書検索が可能となりました。

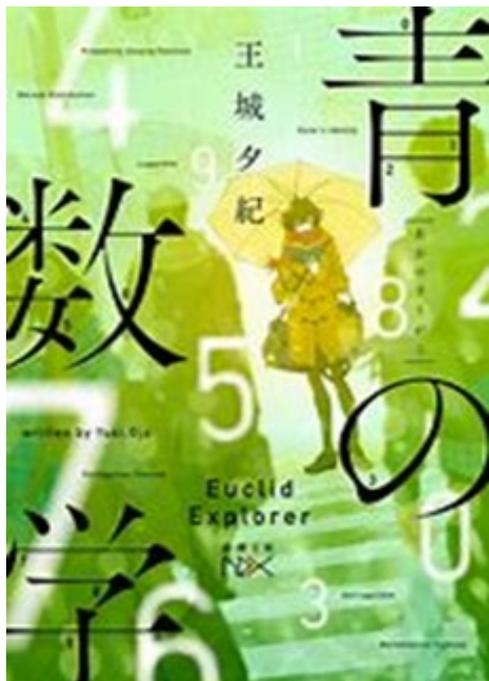
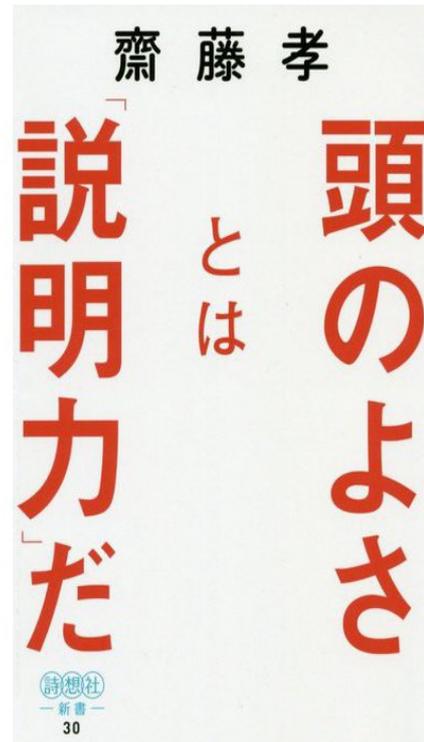
R3.6.24 発行

頭の良さとは「説明力」だ

齊藤 孝

私の大学時代の師である斎藤孝教授が執筆した本の一つである《頭のよさは「説得力」だ》は、学生の皆さんに是非読んでほしいです。勉強を深く理解するのに大切なことは、誰かにその内容を「説明」することだと私は思っています。さらに高校を卒業し、大学生活が始まったら、多くの人とのコミュニケーションをとり、何かを「説明」する場面に何度も出会うので、今後の支えになると思います。本の中で紹介される説明力向上の手法は実際に大学の授業でも行われたものが多いので、明治大学を知りたい！というひとには興味をそそるものになると思います！ぜひ読んでみてください！

小宮先生



青の数学

王城夕紀

私が本屋に立ち寄った時に手に取ったのが、この本でした。数学オリンピックを制した女子高生が、「数学って、何？」という問いに対して、ライバルと競う中で答えを探していきます。読んでいくと、数学の用語や数学に関する問題が出てきます。読書しながら数学の知識・教養を身につけられるので、数学が好きな人もそうでない人も是非読んでほしい一冊です。

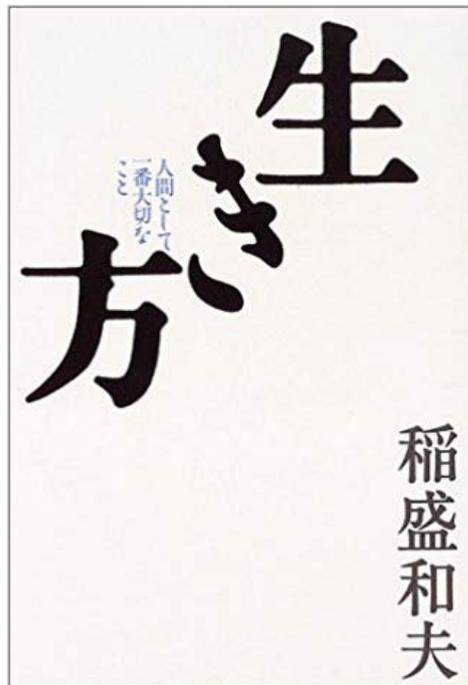
武田先生

生き方

稲盛和夫

京セラや KDDI の創設者であり日本を代表する経営者・稲盛和夫の著書。人生の生き方について、いろいろ参考になることが書かれており、少しでもそういう生き方ができればなど、前向きに考えることができます。若いうちに読んでおくといい一冊だと思います。

杉崎先生



学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話

坪田信貴

勉強ができない女子生徒が驚くスピードで成長していく姿は読んでいてとても気持ちがよく爽快感のある作品です。自分の勉強に対するモチベーションアップだけでなく、勉強方法も書いてあるので勉強に悩む人におすすめの本です。

田宮先生

The Member of the Wedding

Carson McCullers

1946年に発表した中編小説です。日本だと数年前に村上春樹さんが翻訳をしました。舞台はアメリカ南部、小さな田舎町。12歳の少女フランキーは家庭からも友達からも必要とされず世界中で自分の居場所などどこにもないと感じる。彼女は仲間を求めて様々の行動をします。彼女のひと夏の思い出が美しい情景とともに描かれています。彼女の苦しい胸の内は果たしてどのように解消されるのでしょうか。

越智先生

